

委員活動は「難しいことではなく重要であること」を発信

宮崎県

えびの市農業委員会

えびの市農業委員会ではたくさんの女性委員が活躍しています。

女性登用の過程と、登用後の女性が活躍できる秘訣を、稲田会長、岩屋委員、田上委員ほか、事務局の皆さんに伺いました！



女性委員（農業委員、農地利用最適化推進委員）のみなさん

Q どうしてえびの市農業委員会ではたくさんの女性が活躍しているんですか？

A 平成26年はえびの市農業委員会も男性のみで構成されていました。平成28年に改正農業委員会法が施行され、これを契機に女性の登用に取り組みました。

Q 具体的に、どんな取り組みを？

A 平成29年の改選期、はじめは女性の応募が0でした。これはまずい！と一念発起。まずは農業委員候補者として認定農業者の共同申請をされている世帯に事務局が直接出向き、粘り強く説明、お願いをしました。あわせて、農地利用最適化推進委員についても市内の女性農業者の団体を通じて農協や商工会女性部に応募の呼びかけを行いました。

農業委員 3名

農地利用最適化推進委員 7名の女性委員が誕生！



えびの市農業委員会の改選期ごとの女性委員数

	H26	H29	R2	R5
農業委員数 (うち女性)	19 (0)	10 (3)	10 (3)	10 (2)
最適化推進委員数 (うち女性)	—	17 (7)	18 (9)	18 (8)

女性割合
0%→30%

Q 経験のない女性に委員が務まりますか？

A えびの市では委員活動は「難しいことではなく重要であること」を発信しています。はじめは知識がなくても研修などで知識は身につきます！



初めての方でもチャレンジできそう！

Check!

Q 男性委員と女性委員で業務に違いはありますか？

A えびの市では農業委員も最適化推進委員も全員担当地区を持ち、最適化活動を推進します。これにより男女関係なく経験を積み、また、苦楽を共有することで横のつながりも生まれます。

男女関係なくしっかり経験を積むことができますね

Check!



Q 女性ならではの取り組みはありますか？

A 女性委員はグループ「よつば会」を結成し、定例会や遊休地に花を植える活動などを行っています。活動の打ち合せのほか農地制度等の疑問点や悩みごとを持ち寄り、話し合うことで一人で悩むことなく活動できます。

Q 女性が登用されたことで、変わったことやよかったことはありますか？

A 女性の農地所有者や相続人から「相談しやすくなった！」とのお声をいただきます。また、女性委員の積極的な姿が男性委員にも刺激となり、委員会全体が活気づきました。

女性委員は勉強熱心なので、我々も負けていられせん！コミュニケーション能力も抜群で組織が明るく元気になります。

わからないことがあっても色々な人にどんどん聞いて、教えていただきながら勉強していきましょう！



左から稲田会長、岩屋委員、田上委員